

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標6_地球環境・生活環境・上下水道】

施策 6-1_地球環境の保全と継承

基本計画		事業番号	細事業名称
6-01-01	地球温暖化対策の推進	04174_10	地球高温化対策地域協議会活動事業
6-01-01	地球温暖化対策の推進	04192_08	省エネルギー対策事業
6-01-01	地球温暖化対策の推進	04237_03	電動アシスト自転車購入支援事業
6-01-01	地球温暖化対策の推進	04280_01	高効率照明整備事業
6-01-01	地球温暖化対策の推進	06228_01	木質バイオマス間伐材安定供給整備事業補助金
6-01-02	協働による環境活動の推進	04174_01	渦井川水系の環境保全活動事業
6-01-02	協働による環境活動の推進	04174_06	環境活動推進事業
6-01-02	協働による環境活動の推進	04174_14	エコして得するポイント事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04174_10		
事業名(行目名称)		環境活動促進費	細事業名	地球高温暖化対策地域協議会活動事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	地球環境の保全と継承			
	基本計画	地球温暖化対策の推進	担当課	カーボンニュートラル推進室			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	マイバックの持参推進、エコドライブの普及促進、節電・節水意識の高揚、ごみの減量等のための市政だより、ホームページ、チラシ配布等による広報啓発、地球温暖化対策に関する講座開催、プラスチックごみ回収海岸清掃の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民一人ひとりの環境意識と知識の高揚。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		899	1,086	1,086	924	○報償費 17千円 ○旅費 9千円 ○需用費 238千円 ○役務費 82千円 ○委託料 740千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	899	1,086	1,086	924		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
地球高温暖化対策地域協議会登録団体数 (個人・企業)		目標値	298	298	298	298	298
		実績	297	292	292	289	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和5年度総会開催時に、地球温暖化をテーマとした記念講演会を開催し、環境意識の高揚を図ったほか、ロビー展や会報、ホームページ等で温暖化に関する広報の実施など、市民と協働による地球温暖化対策の推進活動を継続している。後半はプラごみ清掃や広報を継続して実施する。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>地球温暖化対策の推進において、市民一人一人の生活様式や行動の変容が必要であり、市民、事業者、行政の協働による地球高温暖化対策地域協議会の活動は重要である。現状の実施状況や協議会の意見をふまえた上で、主に昨年度から実施している海岸のプラごみ清掃等の事業活動や広報を継続し、協議会の活性化や活動の拡大につながるよう、実施方法や広報等の手段について改善、見直しを行い要望する。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
<p>令和5年度総会、総会記念講座の開催、プラごみ清掃等の実施により、登録会員289団体を中心とする各事業の参加者(総会約520人、プラごみ約120人)に対し環境意識と知識の高揚を図った。 地球温暖化対策の推進は、市民一人ひとりの環境意識の高揚と行動促進が最も重要であり、ゼロカーボンシティを表明した本市は、市民、事業者、行政が一体となって取組みを一層推進していく必要がある。今後も見直しや新規取組みにより、会員団体数と参加数の拡大とともに会員団体、市民の主体的な取組み推進によって継続していく必要がある。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04192_08		
事業名(行目名称)		環境基本計画推進費	細事業名	省エネルギー対策事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	地球環境の保全と継承			
	基本計画	地球温暖化対策の推進	担当課	カーボンニュートラル推進室			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市有施設(市長部局及び教育委員会が管理する施設)		数値	138施設		
	手段(どうやって)	省エネ法に対応するため、省エネ法で義務付けられている中長期計画書及び定期報告書の作成並びに省エネ推進のためのコンサルティング業務(中長期計画書等を基にした、市有施設の管理標準の見直し等)を委託する。エネルギー管理企画推進者選任の要件であるエネルギー管理講習を受講する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	エネルギー管理企画推進者を選任し、所管省庁(環境省等)に中長期計画書及び定期報告書を提出する。省エネ法の対象となる市有施設全体(市長部局及び教育委員会が管理する施設)で、エネルギー消費原単位を対前年度で1%低減する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		445	446	446	444	○委託料 428千円 ○負担金補助及び交付金 18千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	445	446	446	444		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比(%)		目標値	99	99		99	99
		実績	103.7	99.4		算定中(7/31確定)	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和5年度から改正省エネ法が施行され、従来の省エネルギーの取組に加えて、新たに非化石エネルギーへの転換の取組についても省エネ法で求められるようになり、非化石エネルギーの割合や取組に関して国への報告義務が必要となった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
省エネ法に基づき作成する中長期計画書及び定期報告書については、毎年、所管省庁に提出することが義務付けられており、設備更新によるエネルギーの削減効果算出等の専門性が必要な業務において支援を受けることで、今後も継続して省エネ法に対応していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
前年度の定期報告書の結果を基に、エネルギー消費原単位の低減に資する取組として、環境監査の実施や環境目標の設定を行う等、全庁的な省エネ推進、周知徹底を図った。今後も省エネ法で国への提出が義務付けられている中長期計画書及び定期報告書の作成を円滑に行い、省エネコンサルティング業務によるエネルギー消費原単位の改善を図るため、事業を継続していく必要がある。また、エネルギー管理講習の受講は、省エネ法で義務付けられているエネルギー企画推進者を選任する上で必要なため、今後も継続する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04237_03	
事業名(行目名称)		自転車のまちづくり推進事業費	細事業名	電動アシスト自転車購入支援事業		
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	地球環境の保全と継承		
	基本計画	地球温暖化対策の推進	担当課	カーボンニュートラル推進室		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	65歳以上の市民	数値	37,150人		
	手段(どうやって)	電動アシスト自転車導入支援補助金を交付する。 ①一般 10,000円/台 ②運転免許返納者20,000円/台 購入費の3分の1				
	目的(どんな状態にしたいのか)	自動車やバイクから自転車への乗り換え促進による温室効果ガス削減 高齢世代の外出時の移動手段への支援による高齢ドライバーの免許返納の促進				
III 投入費用						
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		2,400	2,400	2,400	1,797	
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	2,400	2,400	2,400	1,797	
○負担金補助及び交付金 2,400千円						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度
電動アシスト自転車導入支援数(台)		目標値	119	190	90	180
		実績	115	179	68	129
						—
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する			
<p>本事業は、脱炭素を目的とした市民のライフスタイルの転換を促し、車から排出される温室効果ガスの削減だけでなく、高齢ドライバーの免許返納の促進にも寄与する施策である。半年経過時点では68件の申請、予算40%執行済と市民からの需要は比較的伺える。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止			
<p>事業開始から4年を経過しており、需要は減少傾向であること。また、脱炭素効果も低いことから翌年度の予算要求は行わない。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>本事業は、事中評価では事業の見直しにより予算要求を行わない予定だったが、脱炭素を目的とした市民のライフスタイルの転換を促し、車から排出される温室効果ガスの削減だけでなく、高齢ドライバーの免許返納の促進にも寄与する施策として市民からの需要も相応にあることから、今後も継続する。</p>						

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04280_01			
事業名(行目名称)		高効率照明整備事業		細事業名		高効率照明整備事業		
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策		地球環境の保全と継承		
	基本計画	地球温暖化対策の推進		担当課		カーボンニュートラル推進室		
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	道路課、都市計画課、農林水産課、港湾課が所管する屋外照明灯			数値	約1,000灯		
	手段(どうやって)	ESCO事業を活用し、LED化されていない道路灯や公園灯などの屋外照明灯を一斉にLED化する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	屋外照明灯に係る電気使用量の削減により、排出される温室効果ガスと電気料金を削減する。また、年間の維持管理費を削減する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 149,600千円		
経費			149,600	149,600	143,031			
財源	県・国支出金		0	0	0			
	地方債		134,600	134,600	123,300			
	その他		15,000	15,000	19,731			
	一般財源		0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
温室効果の削減率(%)			目標値		78	78	68	
			実績		0	23	—	
V 事中評価								
評価視点			妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等			事業の方向	現状のまま維持する				
当初の見込みよりも事業対象とする照明灯が増え、LED化施工の対象となる照明台数も増加した。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)			予算の方向	縮小				
令和6年度から令和15年度までの10年間はESCOサービス期間であり、ESCO事業者との契約内容及び債務負担行為に基づき、年間の維持管理に係るESCOサービス料を支払う。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
既設LEDも含めた照明灯の調査、LED施工、柱建替え、照明灯管理システムの構築を行い3月に完成した。LEDへの一括更新によって、令和6年度の温室効果ガス排出量は前年度対比約68%削減見込みであり、令和5年度は施工状況に応じた削減ができた。また、令和6年度から令和15年度までの10年間について維持管理を委託し、削減効果の検証を毎年度行う。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	06228_01	
事業名(行目名称)		木質バイオマス間伐材安定供給整備事業費		細事業名	木質バイオマス間伐材安定供給整備事業補助金		
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策	地球環境の保全と継承		
	基本計画	地球温暖化対策の推進		担当課	農林水産課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	間伐材等安定取引協定を締結している、住友共同電力㈱他2社			数値	3社	
	手段(どうやって)	間伐材等を安定供給するために、住友林業フォレストサービス㈱に対し、運搬コストの支援を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	木質バイオマス発電事業の原料である地域の間伐材等を、安定的に供給する体制を構築する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		963	2,800	2,800	1,265	○負担金補助及び交付金 2,800千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	963	2,800	2,800	1,265		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
間伐材等安定取引協定等に基づく取引量(t)			目標値	7000	7000	7000	7000
			実績	3285.9	2407	1000	1000
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
他企業によるバイオマス発電施設が四国内の数カ所に建設され発電を開始していることに大きく影響され、以前は住友共同電力に搬入されていた林地残材のうちの多くが他のバイオマス発電施設にながれている状況に変わりはなく、増加に苦難している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
現状として実績は伸び悩んでおり、今後も引き続き厳しい状況であることは理解しながらも、事業開始当初の目標値に少しでも近づけるよう事業実施主体の積極的な努力を促す。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
現状として実績は伸び悩んでおり、今後も引き続き厳しい状況であることは理解しながらも、事業開始当初の目標値に少しでも近づけるよう事業実施主体の積極的な努力を促す。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04174_01		
事業名(行目名称)		環境活動促進費	細事業名	渦井川水系の環境保全活動事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	地球環境の保全と継承			
	基本計画	協働による環境活動の推進	担当課	カーボンニュートラル推進室			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	団体の活動である渦井川の清掃、アメゴの放流、水生昆虫調べ、蛍の育成と蛍祭り、マス釣り大会、渦井川沿いの千年の森の下刈り、川周辺の植樹、環境標語の募集及び掲示、小学生による椎茸菌植付け等に対する補助。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	「夢遊友うずい」の支援を通じて渦井川周辺の快適な環境の実現を図るとともに市民環境団体による環境保全活動の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 95千円	
経費		20	95	95	20		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	20	95	95	20		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
イベント数		目標値	7	7	7	7	7
		実績	5	6	3	5	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染の影響も弱まり従前通り事業実施している一方で、会員の高齢化が課題となっていることから、今後の事業継続のためにも若い人材の獲得が求められる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地域住民が主体となり、環境保全に取り組む活動を今後も支援するため、現状維持で予算要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
夢遊友うずいの活動として渦井川の清掃、アメゴの放流、水生昆虫調べ、蛍の育成と蛍祭り、マス釣り大会や環境標語の募集及び掲示のイベント活動の実施により、地域住民が主体として環境保全の向上、地域住民の自然環境に対する意識の醸成、モラルの向上に資することができた。今後も環境保全活動の活性化のため継続実施が必要。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04174_06			
事業名(行目名称)		環境活動促進費	細事業名	環境活動推進事業				
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	地球環境の保全と継承				
	基本計画	協働による環境活動の推進	担当課	カーボンニュートラル推進室				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	113,466人			
	手段(どうやって)	「にはま環境市民会議」の4つの部会において、自然観察会、水質浄化プロジェクト、キッズエコ活動、自転車利用促進！CO2削減見える化運動、ごみ減量講習会、竹物づくり教室等の活動を実施し、地球温暖化の防止、ごみの減量、自然環境の保全等の活動を率先して行っている。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	「にはま環境市民会議」が中心となり、新居浜市のめざす環境像「こどもたちの未来のために～みんなでつくろう 人と自然が共生するまち にはま～」の実現に向けて、市民や事業者を巻き込み、環境活動を推進することによって、環境の保全と創造に寄与する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		390	500	500	415	○委託料 500千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	390	500	500	415			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
環境事業参加者数			目標値	600	600	300	600	600
			実績	682	526	130	403	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染の影響も弱まり従前どおり事業実施している一方で、環境事業参加数の進捗は目標値に対してあまりよくない。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
にはま環境市民会議は環境基本計画の推進組織として、市からの委託を受け活動を継続しており、市民や事業者を巻き込みながら環境保全や創造に寄与している。翌年度については、事業成果を検証のうえ一部事業を見直し、予算要求する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
事業の実施主体である「にはま環境市民会議」が中心となり、市民を巻き込みながら環境活動の推進を行い、環境保全等にも寄与していることから、引続き、事業の実施内容の見直しを行いながら継続する必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04174_14		
事業名(行目名称)		環境活動促進費	細事業名	エコして得するポイント事業				
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	地球環境の保全と継承				
	基本計画	協働による環境活動の推進	担当課	カーボンニュートラル推進室				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	113,466人			
	手段(どうやって)	市が実施する環境イベントや環境保全活動に参加した市民に対し、事業ごとに決められた付与数のあかがねポイントを付与する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市が実施する環境事業に参加した市民に対し、インセンティブとなるあかがねポイントを付与することにより、環境事業への市民の参加意欲の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		100	352	352	93	○需用費 2千円 ○負担金補助及び交付金 350千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	100	352	352	93			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
あかがねポイント付与人数			目標値	1400	1400	700	1400	1400
			実績	155	390	225	366	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染の影響も弱まり従前通り事業実施している一方で、ポイント付与数の進捗は目標値に対してあまりよくない。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
市民の環境活動促進、地球温暖化の意識向上等のため、環境活動イベント参加促進のインセンティブとしてポイント事業の広報とともに事業の推進を図る。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
環境事業に参加した市民へのインセンティブとしてあかがねポイントを付与することにより、環境保全に対する意識付けや意欲向上を図った。環境に関する意識啓発を行い、市民一人ひとりの取組実践につなげていくため、今後も継続実施が必要である。								

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				